

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月27日

事業所名 社会福祉法人とよみ福祉会 キャンディーズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	4	0	・安全面を確保し活動を取り組んでいる。 ・ご本人の様子を確認し、屋外活動・屋内活動に分けて取り組んでいる。	活動室は適切な広さを確保しているが、活発な利用者が動き回ると安全面の確保が難しいと感じる。活動時は必ず職員を配置し様子を見守っている。
	2	職員の配置数は適切である	0	1	3	・前もって職員と意思疎通をしっかりと行い、安全面に注意しながら活動を取り組んでいる。	適切な人員を配置しているが、支援を多く必要とする利用が増え、より細やかな支援の為に職員の配置を増やすことを検討する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	4	・個々に合わせ声掛けや手添えなどを行い、安全面に配慮している。	トイレに手すりを設置 民家(築数あり)の為段差があり、バリアフリーではない。個々に手添えや声掛けなどの配慮が必要な方へ適切な対応を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	・週に1回職員会議を開催し意見を交わす場を設けている。	業務改善が必要な時は早急に話し合い、職員間で周知、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	・アンケートを配布、項目について問いかけ、意見を聞く場を設けている。	保護者の意見を真摯に受け止め、業務改善に務める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	・公開している。	当法人ホームページ、ブログに公開している。 利用者・保護者へ評価結果を配布した。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	4		第三者への外部評価は未実施 第三者からの意見があれば業務改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	・研修に参加している。 ・職員間で資質向上の為に話し合い、スキルアップできる場を設けている。	法人内で研修を開催し参加している。 研修の案内を周知、スキルアップを目指す。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・職員間で話し合い、利用者・保護者のニーズに沿った支援方法を検討し作成している。	定期的にあセスメントをとっている。 利用者・保護者学校などニーズや意見を確認し、ニーズに沿った適切な支援方法を検討、計画書を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0	・使用しているアセスメントツールに気づいた点を詳細に記載している。	個々の状況を確認し、職員間で情報を共有していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	・利用者が楽しめる、経験が増える活動を計画している。 ・職員は話し合い、プログラム内容を確認、分担し取り組んでいる。	活動時にはプログラムを立案し役割分担、支援方法について検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	・利用者がやってみたい活動を話し合い、計画して取り組んでいる。	今後も個々の興味や楽しみが見出せるよう取り組み、季節や地域の行事、食育について学ぶ機会を設けていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0	・長期休暇時には普段取り組みが難しい活動を取り組んでいる。	平日・長期休暇の際には課題を変えて取り組んでいる。特に長期休暇時には、充実した集団活動訓練を設けていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・個々の状況を確認し個別活動、集団活動、将来に向けた取り組みを行っている。	利用者の特性や課題、ニーズに沿って作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	・活動の前に打ち合わせをする場を設け、再度確認している。	活動前には役割分担を確認し、保護者の連絡や学校の引継ぎ等を職員間で周知し取り組んでいく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	・1日を振り返り、気づいた点・気になる点は職員に周知、状況を確認、日誌に記入している。	利用者帰宅後または翌日、振り返りを行い、支援の取り組み方について話し合い、共有している。 気になる点はその後の支援でどのように変わったのか職員会議で経過報告する場を設けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	・毎日、日誌を記録している。利用者の表情や行動、様子などを細かく記載、職員間で共有、支援方法を検討している。	利用者の行動や様子、支援の取り組み方、支援時の変化等を日誌に記録し改善できるよう務めていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	・定期的にモニタリング会議を行っている。ご家庭や学校、関係事業所と連携し計画の見直しを検討することがある。	定期的にモニタリング会議を行っている。職員間で話し合いをする場を設け、日々の活動の様子を細かく分析、計画を見直ししていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	0	・ガイドラインを読み合わせ、日々の活動を振り返り、支援方法について話し合う機会を設けた。	ガイドラインを周知し活動や支援を振り返り、支援方法等を再度見直ししていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	0	0	・活動時の細かな情報を伝え、共有している。 ・担当者会議で得た情報を職員間で共有している。	電話対応時も細かな情報を伝えている。 支援に関わる職員も参加し情報を共有していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、 連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡)を適切に行っている	4	0	0	・挨拶はしっかり行い、丁寧な言葉遣い、話しやすい 対応を心掛けている。学校からの連絡は職員間で共 有している。	今後も密に学校と連絡を取り確認、適切に対応していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	0	0	4		医療ケアが必要な方は在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	0	2	2		保育園や幼稚園を卒園した年は情報を共有していた。 現在は情報を共有する機会はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	4	0	0	・退所後も情報をきちんとまとめ、保管している。	利用時の情報を保管しているので要望があれば提供することができ る。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	0	0	4		助言が必要な時は連携していく。 研修の案内を周知している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	0	1	3	・児童館の情報を確認し、活動に参加できるか検討し た。	屋外活動時、障害のない子と一緒に場に共有、声を掛ける等の機会 があった。これからも交流が持てる場に参加していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している	4	0	0	・地域自立支援協議会が主催するイベントに参加で きるよう計画を立て、活動を取り組んでいる。	地域自立支援協議会の定期的な会議に参加しイベントの運営や活動 に積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	4	0	0	・活動で気になった点(体調や支援後の本人の様子 など)は早急に保護者へ連絡し、その様子を確 認している。また日誌に記録し職員間で共有してい る。	気になる点や状況等は連絡帳に記載し、送迎時や電話連絡等で伝え ていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等 の支援を行っている	0	0	4	・保護者から連絡があった時は傾聴し、丁寧な言葉 遣い、安心できる声掛けを心掛けている。	保護者より子育て、ご家庭での対応に関する困りごとの連絡があった 時は解消できるよう務める。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	4	0	0	・保護者へ連絡が必要な時はわかり易く、丁寧に説 明できるよう心掛けている。 ・運営規定は施設内に掲示している。	契約時や面談時に丁寧に説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4	0	0	・話しやすい環境を設け、保護者から相談があった時 は傾聴し返答している。相談があった時は職員間で 共有している。	連絡帳への記載や電話連絡、帰宅時の引き継ぎ時に声掛けがあっ た時は傾聴し、適切な助言を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	0	0	4		保護者会は開催していない。 保護者会設立時には協力し、保護者が参加しやすい環境を作ってい く。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや保 護者に周知し、苦情があった場合に迅速 かつ適切に対応している	4	0	0	・法人施設内に意見箱を設置している。 ・日頃より話しやすい環境を設け、迅速、適切な対応 を心掛けている。	苦情や意見は真摯に受け入れ、改善に向けて話し合い、職員間で共 有する。また話し合いの内容、今後の取り組みについて伝えていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	4	0	0	・行事前に利用者が周知できるよう連絡している。 ・毎月定期的に事業所便り、法人便りを発行してい る。個別に便りを発行しているケースもある。	行事予定は連絡帳に記載、口頭にて連絡、確認している。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	・毎年度、保護者へ個人情報保護法についてのアン ケートを提出、取り扱いを確認している。法人広報、 事業所便り、ブログ等の個人情報の取り扱いに注意 している。	個人情報はきちんと管理している。就業規則の守秘義務規定を確認 し、個人情報の保護の遵守に務めていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思 疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	・ゆっくり丁寧な言葉遣いを心掛けている。文字盤や イラストを使い、理解できるよう取り組み、表情や仕草 を見逃さず関わっている。	利用者個々が理解できる声掛け、文字盤、イラストなどを使用し意思 の疎通を図っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	0	・見学時間を決め、事業所見学を受け付けている。	毎年、法人主催で祭りを開催、地域の方々と交流できる場を設けてい る。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や 保護者に周知している	4	0	0	・台風時の対応やコロナウイルス・インフルエンザの 感染時の対応について保護者へ文書を配布した。	各マニュアルは確認しやすいよう綴り、保管している。	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	・多くの利用者が避難訓練に参加できるよう日程を調 整し開催している。利用者を変え、訓練後の反省会を 行っている。	防災研修に参加し防災への意識を向上する。 利用者・職員で非常時の勉強会、避難訓練(火災・地震津波)、避難 訓練後の反省会を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	・日頃より職員間で虐待についてのケースや情報を話す機会がある。虐待に繋がるのでは？と想定される行動を検討する場を設けている。	毎年、法人内で障害者虐待防止研修、また地域自立支援協議会が開催する児童虐待防止研修に参加し、虐待防止の意識を高める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0	・身体拘束について支援員間で周知し、共通の認識を持っている。 ・やむを得ず身体拘束をする場合を想定し、面談時に保護者へ確認、支援計画書に記載している。	個別支援計画面談時に保護者へ身体拘束について説明、確認し個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0	・食事会がある時は開催前にアレルギーの確認を行った。	食物アレルギーがある利用者がいる時は保護者・医師と連携をとっていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	・インシデントがあった時は報告書を作成し、法人管理者へ提出している。重大なアクシデントに繋がらないよう活動時のインシデントを確認する場を設けている。	法人内でインシデントの報告書をまとめ、職員間で共有している。また会議などで話し合う機会を設け、今後の対策を立てていく。